カンゾウ末

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は淡黄褐色又は淡黄色～灰黄色(皮去りカンゾウの粉末)を呈し，弱いにおいがあり，味は甘い.

本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，主として結晶細胞列を伴う黄色の厚壁性の繊維束，孔紋，網紋及び階紋の壁孔と単穿孔のある径 80～200μm の道管，でんぷん粒及びシュウ酸カルシウムの単晶を含む柔細胞並びにそれらの破片，コルク組織を認める．皮去りカンゾウの粉末ではコルク組織を認めないか，又は認めてもわずかである．でんぷん粒は単粒で径は 2～20μm，シュウ酸カルシウムの単晶は径 10～30μm である.